

平成 23 年度楽籠クラブ OB 会総会議事録

平成 24 年 3 月 24 日 場所：三田クラブ

総務担当 34 期坂上

【参加者】合計 71 名のうち 45 期以上が 60 名。新 OB および現役が 11 名。

開会の辞（古川事務局長）

議長の選出 町田 OB 会長より挨拶があり、腰高幹事会議長を本日の議長に選出した。

報告事項

1. 幹事会総括（古川）【以下名称敬称略】

今年度は諸般の事情により、例年よりやや少なく幹事会を 2 回、事務局会もそれにあわせて行った。

1 回目では東日本大震災で被災された方へのお見舞金を特別会計からの 35 万も含めた 100 万円を、被害が甚大であった石巻市在住の平塚さん（21 期）へお渡しすることを決定した。

2 回目の幹事会では、幹事会代議員制とプチ楽籠大会への予算化を議論した。

2. エリアネットワーク（香坂）

広報誌でもレポートが出ているが、東日本大震災の被災地激励を兼ねて行われた東北地方をはじめとして、8 月から 12 月にかけて、東海・東北・関西・中国・九州の各地域で会合を行った。

*石巻在住の 21 期平塚さんの会社「山徳平塚水産」の商品が、東京の築地市場で定期的にかかれる「緑のマルシェ」で出品されていることの報告あり。

3. 広報（神島）

年 2 回の「楽籠注目」を今年度も発行した。担当になって長い年月がたつが、今後も続けさせてもらいたい。

4. スペシャルオリンピックス（湯浅）

昨年 9 月にバスケットボール単独の全国大会が開催され、OB・現役による多数の参加・協力があり、その協力に対し、楽籠に感謝状が贈られた。また今年度も様々な事業計画があり、詳細は未定だが、11 月に大きなバスケットボールのイベントを開催する予定。詳細は S0 のホームページを参照のこと。

5. 現役担当（青木）

OB としての支援の中心は、練習や合宿等の際の補助や就職活動支援で、今年度も滞りなく行うことができた。各代 6 名ずつくらい現状だと、試合に人数がそろわない時があるため、新入生の勧誘に期待。

6. 現役活動報告および活動計画報告（新 4 年生・新 3 年生）

（橋本）2 年連続で、秋季リーグ下位リーグ優勝という結果に終わってしまった。次年度こそはやってけると期待している。就職活動後は現役の支援にまわりたい。（山田）次年度は、主将・山田、副将・岩館、主務・濱川という体制でやっていく。目標は塾内リーグの優勝と最低でも連盟上位リーグ進出。

議題事項

1. 平成 23 年度会計報告（志田会計担当）

別表参照。特別会計として、21 期平塚さんへ震災支援として 100 万円を支出。

→特に異論はなく、承認。

→21 期相沢さんより、平塚さんに代わって御礼の挨拶あり。

2. 幹事会分科会制度について（腰高）

現在の各代幹事会は、年に 3 回程度、水曜日の 18 時 30 分から 21 時までという、働き盛りの OB には参加しにくい状況で行われている。今後の OB 会のあり方の議論を活性化するために、主に 30 期以降の幹

事に対する補助として予算を計上し、分科会制度にして実質的な活動をしてもらいたい。

→特に異論はなく、承認。

3. プチ楽籠大会について（腰高）

若手OBのバスケットボールの交流の場としては、以前は30期代を中心とした「97ers」があったが、30期代も年齢が上がったため、40期代を中心としたOBで現役との交流の場を設け、「プチ楽籠大会」として予算を計上しておきたい。

→特に異論はなく、承認。

4. 平成21年度予算案報告（志田）

別紙参照。会費納入率は次年度も80%をベースに算出。上記の幹事会分科会制度補助に21万円、プチ楽籠大会補助に2万円を支出する予定。

→特に異論はなく、承認。

閉会の辞（真壁監査役）